

VLED 第4回技術委員会

議事録（案）

1. 日 時 平成28年3月10日（木） 10:00～12:00
2. 場 所 YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所 8F 大会議室
3. 出席者 主 査：越塚登（東京大学大学院情報学環 教授）副主査：武田英明（国立情報学研究所 教授）
委 員：平本健二（経済産業省 CIO 補佐官）、深見嘉明（立教大学ビジネスデザイン研究科 特任准教授）
社 員：KDDI、日本電気、日本電信電話、日立製作所、富士通、三菱総合研究所（事務局）
自治体会員：横須賀市
オブザーバ：総務省、内閣官房 IT 総合戦略室、国土地理院
事務局：三菱総合研究所、YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所
4. 配布資料 資料 4-1 第3回技術委員会議事録
資料 4-2 他の委員会の開催状況報告
資料 4-3 オープンデータガイド(活用編) 概要
資料 4-4 データの利活用・公開に有用なツール集 概要
参考資料 4-1 2015 年度第4回技術委員会 座席表
参考資料 4-2 2015 年度第4回技術委員会 委員名簿
参考資料 4-3 オープンデータガイド(活用編) 案
参考資料 4-4 データの利活用・公開に有用なツール集 案
一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム プレスリリース
5. 議題
 1. 他の委員会の開催状況
 2. オープンデータガイド(活用編)の精査
 3. データの利活用・公開に有用なツール集の精査
 4. 意見交換
6. 決定事項
 - 本日の議論の内容を整理して活用編及びツール集に盛り込む。
 - 次年度の活動内容及び各資料の編集内容を4月中にメールでお送りする。

7. 議事録

(1) 前回議事録確認

- コメントがあればご連絡をいただきたい。

(2) 他の委員会の開催報告

- 前回の技術委員会以降に、データガバナンス委員会、利活用・普及委員会、2020 オープンデータシティ推進委員会が開催された。
- 報告していただいた他の委員会での事例も、活用編に追加してはどうか。

(3) オープンデータガイド(活用編)の精査及び意見交換

- ページ番号など、編集上のミスを修正してほしい。
- ガバナンス編は内容とタイトルが一致していない。
- 技術委員会の資料としてガバナンスという章を設けるのは適当か。また、自治体の方を想定している資料であるなら、次年度に改訂する際には、オペレーションやマネジメント上のようなルールにするかを説明すべき。
- ガバナンス編はデータマネジメント編にして、アイデアやシナリオを書けばよいのではないか。
- ガバナンス編の書き方では、写真は使わないといっているように読める。
- 写真は使っていただく前提で、こういう点に注意する、という書き方にすべき。
- キャプチャ画面を貼りつけているだけだが、画面の中に矢印を付けたり、画面の遷移フローを入れたりしてわかりやすくしてほしい。
- キャプチャ画面の権利上の問題がないか、事務局で精査してほしい。また、全体的にシナリオ部分からいきなり細かい説明になっているので、まえがき部分でもう少し詳しく説明したほうがよい。シナリオの表も縦書きにすべき。
- 3章の説明部分で詳しく書き足していく。
- データのクレンジング・前処理の部分は文章を端折りすぎている。また「データをドッキングする」という表現は見直すべき。
- この手のマニュアルは、できる限りワンステップごとに画面をキャプチャして、その意図を記述しないと操作に支障が出る。また、意図を説明しないと、他に応用することができない。
- 委員のご指摘のとおり、もう少し丁寧な説明が必要。データカタログサイトが紹介されているが、事例では紹介されていない。改訂する際には是非入れてほしい。
- 4.3 は、一つしか紹介していないので、もう少し増やすべき。
- オープンデータの活用事例は総務省も公開している。また自治体の活用事例も整理しているが、公開する文書の性格も踏まえて、まとめ方を精査すべき。

- アイデアとして紹介する場合でも、利便性や顧客満足度などの観点から、オープンデータにするメリットを説明するべき。
- いただいたご意見を反映して、4月の公開に向けて整理したい。なお、この内容で確定させるわけではなく、今後の改訂しやすさを考慮して直してほしい。

(4) データの利活用・公開に有用なツール集の精査

- 各ツールの「想定される利用者」が、こういうことをしたい人、という内容と、このツールを使ってできることが混在しているので分けるべき。また、第一章に有償と無償の一覧表を設けて、利活用はタグで初級、中級、上級などと分類するとよい。
- オープンデータ特有のツールなのか、汎用的なツールなのかも明記してほしい。また Open Refine も紹介してほしい。
- 各社員からいただいたツールをそのまままとめているが、GitHub の利用なども議論としてあった。どういう形でまとめるべきか。更新の容易さを考慮すると、単純にたばねるだけでよく、編集方針としてそのようにしていることを記述しておくべき。
- 原則としては、各社のツールをまとめたものにした。
- それでよいと思うが、複数のインデックスを付けて、参照しやすいように工夫してほしい。
- RESAS や jSTAT は是非紹介してほしい。
- 紹介していただいたツールには、自社開発ではないものもある。「開発者」という項目だけでなく「販売者」などの項目があるとより正確になる。
- この資料を cc-by で公開したときに、画像の権利関係で問題が生じないように各社で確認をしておいてほしい。
- 二次利用で問題がないかを確認しておく。
- データ分析や可視化をする際に有効な Python や Ruby、Java などでも紹介してよいと思う。
- PDF で出ているデータを表に落とし込むツールや、読み込んだ後でクレンジングするツールなど、利用するうえで便利なツールも紹介してほしい。
- ツール集の更新プロセスを教えて欲しい。また VLED の名前でツールが出るときに、推奨であるかのような表現になることを危惧する。
- 更新プロセスは連絡する。また、タイトルやインデックスも含めて見直し、VLED の推奨ではないことがわかるタイトルにする。
- 天気予報などの動的データは API になっているが、利用規約上、法人利用は「ご相談」となっている。API のライセンス形態についても書いてあると便利。
- いろいろなコードが紹介されているので、コピー&ペーストできるようになっているとよい。
- Word と PDF で公開するのでそうしたことができるようにする。
- さまざまなイベントで、一緒に取り組みたい。また web を作る際に CMS を工夫することで、ワンアクションでオープンデータになる仕組みがあるとよい。

- こういう使い方をする、というイメージがないと地方公共団体も使わない。オープンデータを使う、良い側面をアピールして欲しい。
- 利用ガイドで紹介されている WordPress が、ツール集の中では紹介されていない。想定読者の対象にあわせて、資料として分けるか、パートとして分けるか、もう少し工夫が必要。また、情報リンク集も附則として入れることが、より深く理解できて応用がきく資料になると思う。
- 各ツールの位置づけやアップデートのサイクルなど、各プロセスを明確にすべき。また、技術委員会も code for の方やシビックテックの方の意見を吸い上げられるようにしたほうがよい。
- 今年度の活動として、シナリオやツール集として集めたことで、全体を見渡すことができよかった。次年度はイベントでブースを出すとか、セミナーをすとか、普及・広報面を強化することを検討してはどうか。
- まだまだオープンデータに対する理解が不足しているが、札幌市でも、きちんと説明することで納得してくれるところも多いと感じた。その意味からも、イベントとかセミナーとかは重要。自分が座長をしているトロンフォーラムのセミナー部門とタイアップすることも検討したい。

(5) その他

- 明日、JDMC で IPA の共通語彙基盤を特別賞として表彰する。
- 次年度の活動内容、及びガイドとツール集の編集内容をメールでご連絡する。

以上